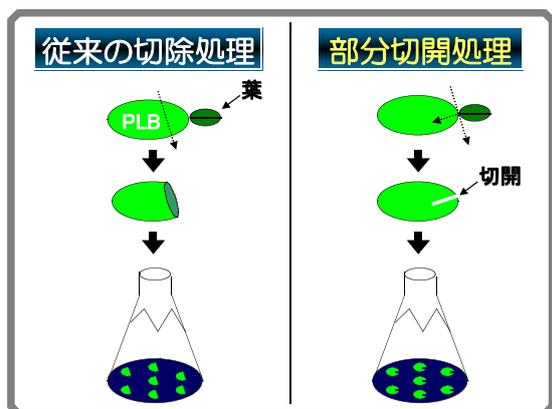


コショウランの組織培養法の改良

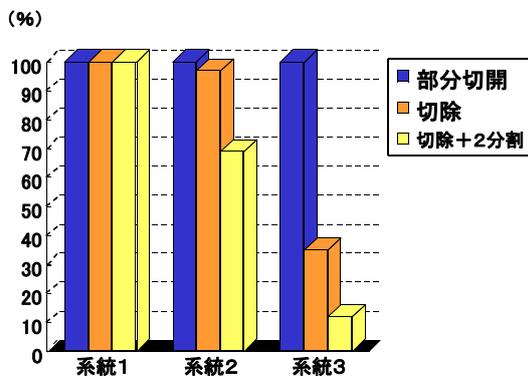
コショウランのクローン苗生産ではPLBを切って培養し、増殖を行います。しかし、コショウランの品種のなかには、PLBの活着が悪いものがあり問題となっていました。そこで、PLBの切り方を改良し、「部分切開処理」を行ったところ、PLBの活着率が向上することがわかったので、紹介します。



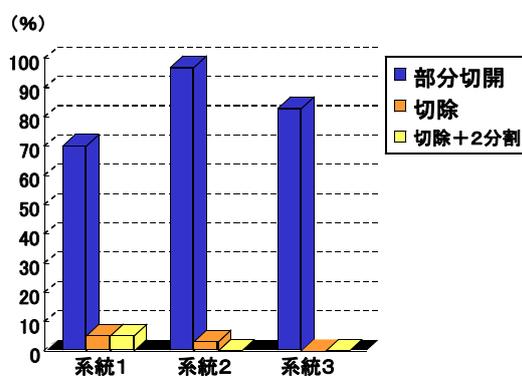
部分切開処理の手順



部分切開処理でのPLBの増殖



PLBの活着率



処理部位からの葉の展開率

○部分切開処理の特徴・留意点

- ・従来の処理より活着率がきわめて高い。
- ・切開部位から葉が1～2枚展開するため、変異をチェックしやすい。
- ・切開が浅いと、PLBの形成数にむらがでやすい。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 花き園芸担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>